

庄原さとやま留学
関係人口コーディネーターコース　活動スタート！

政策企画課関係人口創出係　☎0824-73-1209

庄原さとやま留学（1年）活動開始！

「庄原さとやま留学」は、全国各地の若者が本市に滞在しながら、庄原の強みであり、基幹産業でもある農林業や、さらなる若者の呼び込み、関係人口創出につながる就労などを通じて、本市に定着してもらうことを目的とした、就労体験型プログラムです。

10月1日から、本市へ1年間滞在し、期間中、就業や地域交流などを行う『庄原さとやま留学（1年）』の活動がスタートし、関係人口コーディネーターコースに、掛札宥衣（かけふだゆい）さんが着任しました。



▲八谷恭介（やたがいきょうすけ）市長（左）から委嘱状の交付を受けた掛札さん

関係人口コーディネーターコースとは？

地域の魅力や課題を第三者の視点から掘り起こし、外の人材と地域をマッチングさせながら、持続可能な新しいコミュニティを創り出す、地域と多様な関わり方ができるコースです。

地域のプレイヤーや住民との交流を入り口に、さまざまな現場にも関わりながら、人と人、人と地域をつなぐ仕組みづくりを探求していきます。

着任しての意気込み



庄原さとやま留学生の掛札です！以前は東京で仕事をしていましたが、地元・庄原の地域活性化に貢献したいと思い、この留学に応募しました。

これから1年間、地域のさまざまな場所を巡り、関係人口に関わる業務に取り組みます。まずは地域を知るところから頑張ります。

活動の様子を見かけた際は、ぜひ声を掛けていただけるとうれしいです！

活動レポート

◆10月4日　え～林業体験

庄原の基幹産業の1つである林業を体験する、庄原ファンクラブ会員限定イベントに参加しました。

当日は、子どもから林業に興味のある人まで6人が参加し、株式会社FOREST WORKER（フォレストワーカー）の田村栄太（たむらえいた）さん指導の下、森の散策や伐採、丸太切りなどを体験しました。

実際に森に入り、自然に触れながら林業の仕事を学ぶことで、森林を守り、活用していくことの大切さや、林業が抱える課題について理解を深めました。



◆10月11日　白楊祭（はくようさい）出展

県立広島大学庄原キャンパスで、庄原ファンクラブ会員限定企画を実施しました。

学生をはじめ、市内外から多くの人が集まる中、庄原市産の新米すくいとりを行い、本市の魅力を発信しました。

当日は「ひばサポさん」にもご協力いただき、開始から約5時間で、準備した新米30キロが全てなくなりました。

多くの人に庄原ファンクラブを知っていただく、良い機会となりました。





掛札さんには引き続き、『ひばサポ』掘り起こしやヒアリング、庄原ファンクラブ事業などを中心に、関係人口創出に向けた地域活動などを行ってもらう予定です。

活動の様子はSNSなどで発信します。ぜひご覧ください！

▲留学生Instagram

庄原さとやま留学生募集

庄原さとやま留学では、18～29歳の若者を対象に参加者を募集しています。

庄原の地域体験に興味がある人、農業の現場を知りたい人など、自然豊かな環境で生活や地域の人々との交流を通じて、新しい価値観やスキルを身につけたい人にお薦めです。

募集を開始する際は、ホームページおよびSNSで発信します。皆さんのご参加をお待ちしています。

詳しくは庄原さとやま留学のホームページをご覧ください。

▲ホームページ

※プログラムによっては地域要件を求めることがあります。
※定員に達し次第、募集を終了します。
※最低催行人数に達しない場合、開催しない場合があります。

3つのプログラム詳細

本市の強みである農林業などの仕事を体験しながら、地域とのつながりを築いてみませんか？

ライフスタイルや関心度に合わせて、次の3つのプログラムを用意しています！

①お試し留学（2泊3日）
- 本市の農林業の仕事・暮らしを、まずは体験できるプログラム

②留学インターン（2週間程度）
- 農家の皆さんと一緒に農作業などに取り組み、田舎の暮らしや働き方を肌で感じながら、自分の未来の可能性を見つけるプログラム

③留学（1年）
- 本市に1年間滞在し、地域との交流や仕事を通じて、地域づくりや農業、田舎の暮らしを実践的に学び、地域の魅力を発信するプログラム

